

千葉市の4つのシンボル活用を考える シンポジウム開催！

主催：淑徳大学地域創生学部 後援：千葉市

淑徳大学地域創生戦略フォーラム in 千葉

淑徳大学が開学した千葉市には、市民の誇りのもととなる「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」という4つのシンボルがあります。淑徳大学では、令和5年4月に地域創生学部を開設し、地域創生を担う人材の育成を進めています。今回、学部の開設を記念して、これらのシンボルを活用した観光集客及びシビックプライド（市民の誇りと責任感）の醸成の有り方について、地元の市民活動家、地域メディア、地域経営プロデューサー、学識関係者など多彩なパネリストを迎え、ディスカッションを開催。地域創生の可能性を探ります。

第一部 プチ講演（15:00～15:45）

① 「都市アイデンティティ推進の現状」

千葉市総合政策局総合政策部都市アイデンティティ推進課長 上坊寺 貴明

② 「地域の歴史を物語化して市民の誇りを高める」

淑徳大学地域創生学部地域創生教育研究センターフェロー 桜井 篤

第二部 パネルディスカッション（15:55～17:00）

「千葉市の4つのシンボル活用を考える編集会議」



近藤 寿考

(株)ニッポン放送
千葉支局長

'92年神戸新聞社に入社。デイリースポーツ志向を経て、2002年ニッポン放送関西支社。2021年7月から千葉支局勤務。千葉市在住2年7ヵ月。



小亀 さおり

NPO法人Aqua Dream
Project代表理事

シンガポール航空客室乗務員、千葉市観光プロモーション課海外集客班を経て、現在、SBSホールディングス(株)サスティナビリティ推進部所属、各種司会も担当。



田村 晴二郎

(株)オニオン新聞社
「千葉あそび」創刊編集長

同社取締役。フリーペーパー「クーポンランド」編集長10年100号、「千葉あそび」創刊編集長を務める。現在は主に千葉県・千葉市のプロポーザル事業を担当。



銭谷(小川) 恭子

(株)さとゆめ
プロデューサー

地域の目指す姿に徹底的に伴走するスタイルを貫く、(株)さとゆめに所属。地域事業の改善や立上げに携わる。(株)インターゼリサーチ客員研究員。淑徳大学兼任講師。



矢尾板 俊平

淑徳大学地域創生学部
学部長・教授

博士（総合政策）。専門は、総合政策論、公共選択論、経済政策論、選挙・投票行動。主な著書に『地方創生の総合政策論』（勁草書房、2017年）など。



桜井 篤

(株)チェリー企画
代表取締役

魅力発掘プロデューサー／脚本家、前千葉市観光プロモーション課長、元「じゃらん九州」編集長、現淑徳大学兼任講師、観光振興コンサルタント、千葉市在住10年

・ごあいさつ 淑徳大学地域創生学部長 矢尾板 俊平

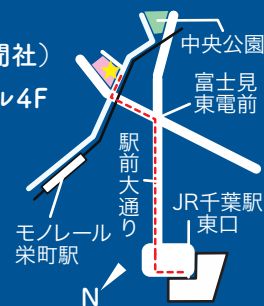
令和6年2月24日(土)15時～17時

「onion base」(株式会社オニオン新聞社)

千葉市中央区栄町36-10 甲南アセット千葉中央ビル4F

< JR千葉駅からのアクセス >

JR千葉駅東口を出る→駅前大通りを中央公園方面へ進む→富士見東電前の交差点を左折→モノレール高架下を過ぎてすぐ右折→1Fにファミリーマートとヤマト運輸の入っているビルの4階



お問い合わせフォーム



担当/桜井・矢尾板

お申し込みは
こちらから



参加費無料 先着40名

※定員に達し次第、締め切りとなります。